

若宮公民館だより



こんにちは 若宮公民館の関です

4月に着任し早3か月がたち現在、地域を知るべく、若宮付近を日々探検中です。

おすすめスポットがあれば教えてください。

今後も地域の人々が若宮公民館に集い、学び、そして出会いの場としてご活用いただき、皆様に愛される公民館を目指してまいります。

令和5年7月15日 若宮公民館 館長 関 武彦

公民館を使ってみよう ～公民館の施設紹介～

若宮公民館には、使用料が発生する6つの部屋とそれ以外の共有スペースがあります。裏面に施設の紹介をさせていただきます。ぜひ、利用目的と利用人数に最適な部屋を選んでいただき、ご活用ください。なお、初めてご利用になる際には、当公民館へお問い合わせください。

若宮公民館 電話 047-336-7958 開館時間 9:00～21:00

休館日

- 1) 毎月の最終月曜日
- 2) 祝日による休日(祝日が日曜日の場合は振替休日の日)
- 3) 年末年始(12月29日から1月3日)

若宮公民館施設の定員・使用料(1時間あたり)について

別途、消費税相当額を加算する(ただし、10円未満は切り捨てる)

施設	定員	市民等 (市内在住、在勤、在学の方及び それらの方が半数以上構成する団体)	市民等以外 (市民等の条件に当てはまらない方)
第1和室	10人	90円	290円
第2和室	10人	80円	260円
第1研修室	20人	150円	460円
第2研修室	20人	150円	460円
会議室	70人	440円	1350円
調理実習室	20人	230円	700円

第1和室



畳敷きの部屋ですが、机と椅子もあります。1階にあり、とても日当たりのよい部屋です。

第2和室



畳敷きの部屋ですが、机と椅子もありますので、作業や会議にも活用できます。

第1研修室



机と椅子のほかにプロジェクタースクリーンもあります。机といすは可動式ですので利用者様の利用しやすいレイアウトにアレンジできます。

第2研修室



机と椅子のほかにピアノがある部屋です。おひとりでのピアノの練習をすることもできます。もちろん、合唱サークルにも最適です。

会議室

アンプとCDプレーヤーもあります。お手持ちの音源を再生することも可能です。



98平方メートルある広い部屋です。前面は一面にとっても大きな鏡がありますので、体操や踊りの練習に最適です。

調理実習室



4グループでお菓子作り、お料理作りを楽しめます。ガスレンジ、シンクがグループごとにある他電子レンジや冷蔵庫もあります。包丁をお貸しすることもできます。

<共有スペースの紹介>

児童室（中学生までの方対象）



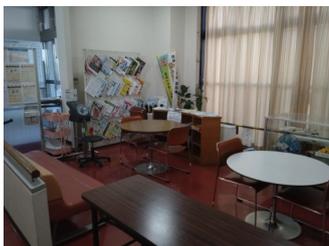
中学生以下の皆さまがご利用いただける部屋です。小学生未満の方は保護者同伴でご利用ください。

集会室（60歳以上の方対象）



36畳ある広い部屋です。前方にはステージがあります。畳敷きの部屋ですので、体操や踊りの練習に向いています。また、イベントの会場としても利用できます。

ロビー



市川市に関する情報の他、催し物や学びの情報を取得することができます。また、市川市のAruco測定コーナーがあり、体組成計と血圧計がありますので、お気軽にお立ち寄りください。

前庭



季節の花々の他にきゅうりとゴーヤを育てています。また、メダカもいますので、散歩の途中でも見に来てください。

地域の皆様に向けて、様々な講座・イベントを企画しております。その際には、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

若宮公民館だより

約4年ぶり！！

「若宮公民館文化祭」を開催いたします。

今年度はコロナ禍後
久しぶりということもあり、下記日程にて開催することとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。
当館サークル団体の日頃の活動を披露いたします。
皆様のご来館を心よりお待ちしております。



☆ 若宮公民館文化祭 ☆

☆日程

令和5年10月22日(日) 9:00～16:00

☆催し物

9:00～オープニング

若宮小学校吹奏楽部演奏 ※雨天中止

- ◇ 作品展示(各部屋)9:00～16:00
- ◇ 舞台発表(集会室)・模擬店販売(パン・飲み物等)9:30～
中央図書館(こどもとしょかん)職員による
本の読み聞かせ(児童室)14:00～(30分程度)

(公民館職員作成)

「若宮・中山検定」を実施します。

15問中10問正解すると

「合格」

ステキなプレゼントを贈呈



～過去の若宮公民館文化祭より～



若宮小学校吹奏楽部
演奏

サークル団体による
発表



サークル団体による
展示

公民館からのお知らせ

2023年は「関東大震災から100年」節目の年
震災の歴史を学び、直近の震災等を通して、
身近な防災・減災、自宅での過ごし方等を、
専門家から学びましょう！

親子で、ご近所・友達同士で、ぜひ学んでみませんか？

【対象：市川市在住・在学（中学生以上）・在勤の方】

講座名：

「自分・家族・地域の防災に
ついて学ぼう！」

日時：11月11・25日（土）

10:00～11:30

講師：前 市川市危機管理監 水野 雅雄

（元 若宮公民館館長）

市川市危機管理課 土屋 昌之

申込方法：若宮公民館窓口にて

お申し込みください（申込受付中）

令和5年度
若宮公民館主催講座

今年は
「関東大震災100年」

自分・家族・地域の
防災について学ぼう

～全2回講座～

申込方法：9月9日（土）9：00から
若宮公民館 窓口 先着順：20名
※電話でのお申込みは、ご遠慮願います。（車での来館不可）

【対象者】
市内在住・在学（中学生以上）・在勤の方

日時・内容

第1回目
令和5年11月11日（土）10時～11時30分
内容：☆（講義）「自分を守る・家族を守る防災対策」（地震編）

第2回目
令和5年11月25日（土）10時～11時30分
内容：☆（講義）「阪神・淡路大震災の教訓」
◇（防災ゲーム）「クロスロードゲーム」
☆（見学）「公民館防災倉庫見学」

場所：若宮公民館 1階 集会室

講師

☆前 市川市危機管理監（元 若宮公民館 館長） 水野 雅雄
◇市川市危機管理課 主幹 土屋 昌之

【問い合わせ先】
若宮公民館：047-336-7958 （担当：松下）

家族・友達・地域
ご近所で今一度
学んでみませんか？

8月26・27日

4年ぶりに「若宮 第六天社 八幡神社 例大祭」
が行われました



「第六天社」での入魂式



「若宮公民館サークル」
アロハマウロア さん

お祭りを運営された町内会の皆さま、お祭りに協力された多くの皆さま、素敵な二日間をありがとうございました。

☆編集後記☆

第2号編集担当「松下」です。

次号も皆様のお役にたてる内容を作成していく予定です。

よろしくお願いいたします。



市川市若宮公民館

〒272-0812 市川市若宮2-15-8 TEL:047-336-7958 FAX:047-334-3053

若宮公民館だより

4年ぶりの文化祭大成功。 ご協力に感謝いたします。

館長 関 武彦

4年ぶりに開催された若宮公民館文化祭は、570人の来館者が集まり、大変賑やかな文化祭となりました。たくさんの方のご来場に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

発表の場では、参観された方の拍手と声援もあり、出演者とお客様の間にあたたかな雰囲気が生まれていました。また、展示の場におきましても出展したサークルの方とお客様の間に、作品を通して会話が生まれていました。オープニングでは、若宮小学校吹奏楽部の演奏があり、会場に楽しい音楽の響きをもたらしてくれました。また、若宮中山検定クイズでは、第四中学校の生徒さん9名の方がボランティアとして参加していただき、イベントの運営を支えてくれました。お子様連れのご家族の参加も多く、さまざまな世代の方が集う素晴らしい世代間の交流の場となりました。

このような素晴らしい一日となったのも、サークル協議会様をはじめとした多くの方々が文化祭の企画運営、発表・展示にご尽力いただいたおかげであり、関わってくださったすべての方に感謝の意を表さずにいられません。ほんとうにありがとうございました。



若宮小吹奏楽部の素敵な演奏



児童室での読み聞かせ



展示を熱心に見学中



お客様と一体となった発表



賞品のメダカ、手芸用品は大好評



日頃のサークル活動の成果を発表



ご家族の声援を受けて熱演



食品の発売も大盛況



会場に入りきらないほどの盛況



若宮新春邦楽コンサート



《主催講座内容》

◆コンサート開催日
2024年1月28日(日)
13:30~14:30

◆プロフィール

《山脇貴久恵》

東京藝術大学卒業、同大学院修了。

◆受付開始11月18日(土)9:00(若宮公民館窓口)
先着30名

2016年、第1回 K 邦楽コンクール現代部門・アンサンブルにて優秀賞受賞。2022年、宮城道雄記念コンクール第二位、市川市文化振興財団新人演奏家コンクール最優秀賞。

《藤舎英佳》

11歳から邦楽囃子を初める。生田流箏曲宮城社免許皆伝(箏)を取得。第35回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール(邦楽器部門)にて優秀賞を受賞。東京藝術大学音楽学部邦楽科在学中に「常英賞」を受賞。



入場無料

担当: 清水



若宮公民館主催
若宮新春邦楽コンサート

～生田流箏曲・小鼓～
若宮で聴く箏の調べ



邦楽囃子: 藤舎英佳
箏: 山脇貴久恵

2024年1月28日(日)
13:30~14:30 **入場無料**

曲目: 八千代獅子、さくら変奏曲、昭和ポップスメドレー等

※申込方法: 11月18日(土)9:00から
受付: 若宮公民館窓口 先着順30名

※対象者は、市内在住・在勤・在学の方

※電話でのお申込みは、ご遠慮願います。(車不可)

◆お問い合わせ: 若宮公民館 ☎047-336-7958(担当: 清水)

懐かしの若宮銀座商店街



若宮銀座の七夕祭り
(1980年頃)

昭和55年頃の風景写真です。

写真: 若宮3丁目鈴木様より借用

若宮公民館だより

2024年のスタートに当たって

館長 関 武彦

皆様にとって、輝かしい新しい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。さて、去年は多くの皆様にお越しいただき、公民館が地域の拠点としてさらに発展できたことを心より嬉しく思っております。これからの一年も、皆様にとって有意義な時間を提供できるよう努めていきますのでよろしくおねがいします。

そのために、公民館を地域の方々が気軽に利用し、交流の場となるよう努めます。地域のコミュニティづくりにおいても、一役買える存在となるよう、様々な取り組みを進めてまいります。地域の方に役立つ講座やイベントを積極的に提供してまいります。皆様のニーズに応え、学びや楽しみ場の場として公民館をご活用いただけるよう、幅広いプログラムの提供に努めます。



地域の情報発信しています

そして、職員一同が協力し合い、利用者の皆様が快適に公民館を利用できるよう努めてまいります。ご要望やご意見をお聞きし、公民館をより良い場所にするために努力してまいりますので、どうぞお気軽にお知らせください。

新しい年が皆様にとって素晴らしい出会いと充実した瞬間で満ち溢れたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。



前庭には季節の花がいっぱいです



メダカ育成中です

若宮新春邦楽コンサート開催

1月28日（日）に多くの若宮・中山地区の方に箏と和太鼓の演奏を聴いていただきました。「上を向いて歩こう」「西部警察のテーマ」「さくら変奏曲」などさまざまなバリエーションの曲が間近で演奏され、来場された皆様は感動された様子でした。また、講師から和楽器の歴史にもふれていただき、プチ知識を得ることができました。



山脇貴久恵先生（箏奏者）と藤舎英佳先生（邦楽囃子）による演奏の様子

3月1日（金）から若宮公民館に 図書の本返却ポストが設置されます



市川市立図書館の本の返却にどうぞご利用ください。
公民館図書室（東部・曾谷ほか）の本など、バーコードの付いていない本は返却できません。

中山・若宮地域の防災を考える講座を開催しました

本年度は、新年早々能登地方に大変大きな地震が発生いたしました。昨年度、本公民館では「地域の防災を考える」講座を開催し、たくさんの地域の方が参加されました。「自助・共助・公助」という言葉の中に「公助」という言葉があるように、非常災害時には地域での助け合いが必要になります。この講座の中で得られた教訓をお伝えします。

講座名：「自分・家族・地域の防災について学ぼう！」

講師：前危機管理監 水野 雅雄 氏 危機管理課主幹 土屋 昌之 氏



グループの話し合い

災害時における若宮・中山地区のリスクと地域の強みは何か

☆リスクは何か。

若宮地区は、延焼による危険性もあり初期消火が重要です。

地区内には、狭い道路が見受けられます。がけ崩れで避難路が閉塞されることも想定できます。

☆強みは何か。

町内会で「自主防災組織」があり、災害発生時に助け合うことが出来るように準備している。

日常的な備えはどうしたらよいか。

ローリングストックという言葉があるように、「日々の生活で購入するものを少し多めに備蓄しておく」とよいでしょう。災害時に何が必要かを家庭で見直すことが必要です。また、家族で街歩きなどして安全な避難ルートを複数確認しましょう。必要に応じて耐震診断や改修、危険ブロック塀の撤去、感震ブレーカーの設置、家具の固定など自宅の防災対策を考えましょう。

参加された方の感想

学んだ内容を、世代間を通した町会での活動のきっかけづくりとしたい。

身近に感じる内容で、今後どのように行動していけばいいか考えさせられた。

講座担当から

グループワークでは、災害時にどのような行動がとれるのか様々な意見が出されました。日頃から、災害を想定して話し合いをすることが災害時にとれる最適解の行動につながるように感じました。また、日頃からのコミュニケーションをとることが何より必要であるので、コミュニケーション作りの場として公民館を活用していただきたいと思いました。



災害時にできることを学習

～講師からのメッセージ～

※講師の体験より、

「阪神・淡路大震災」での救助活動は、「自助」70%「共助」20%「公助」10%だといわれています。

大地震直後は救助隊も来られないことを想定し、私たちが日ごろから備えることが大切です。



防災倉庫を見学中